

同志社生協 入学準備説明会



[新学期]

取り組み概要

日時：12月～3月の期間に開催
場所：Zoomウェビナー
参加者数や組合員の反応：多くの質問がよせられ、説明会参加後に学生委員会主催の企画に参加する新入生もいた。

背景や概要：同志社大学では計10回をオンライン開催。同志社女子大学では計11回をオンライン、対面の両方の形態で開催した。職員と両キャンパスの学生委員会が連携した説明会であった。

組合員の
実態をよりリアルに

POINT.1

学生生活実態調査をもとにリアルな学生生活を紹介

⑧同志社生協の学生総合共済給付事例

ケガによる入院・通院・手術の主な事例と件数	給付事由	件数
ラック倒しした事で...	日常生活の中のケガ	177
	アルバイト中のケガ	48
	料理中・食事中	18
	通学中	20
授業にも加害者にもなる可能性がある...	交通事故	120
	自転車事故	65
	原付運転中	38
	自動車同乗中	17
	自動車運転中	1238
	スポーツ事故	

説明会のコンテンツには、学生生活実態調査の結果を発表していました。1ヶ月の収支、日常生活のこと、トラブル、勉強時間、サークル、インターンシップ、共済などをデータを用いて発表していました。“データで見る同志社大学生の学生生活”というタイトルが、保護者の興味・関心をよびました。実際の調査をもとにしていて、学生のリアルな生活を新入生や保護者に届けることができていました。

POINT.2

学生生活のリアルをミニムービーに

説明会では、学生委員によるミニムービーを多く取り入れていました。下宿生と自宅生の一泊、4年生のお話、実際のパソコンの使い方、食堂紹介などをコンパクトなムービーにすることで、見てて飽きない工夫がされていました。

学生の実際の生活、実際のパソコンの使い方などをムービーにすることで、新入生にとって身近で参考になる内容となっていました。



POINT.3

平日も参加できるナイトタイム開催も併用



同志社大学では入学準備説明会を合計10回開催しました。土日は午前の2時間、平日は夜の2時間でした。土日だけでなく平日も開催することで、多くの新入生が参加することができていました。また同志社女子大学では対面とオンライン、両方の形態で開催されていました。

Q&Aでは、職員と両キャンパスの学生委員が質問に答えていました。ウェビナーなので、匿名で質問ができ、多くの質問に答えており、新入生の不安を解消することができていました。